

# 宗岡中だより



7月号 令和3年7月1日(木)  
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

## 「いつもの夏休みに」

校長 林 孝安

早いもので7月(文月)となります。過日行われた学校総合体育大会地区予選では、惜しい所での敗戦が目立ちましたが、どの部活動もベストを尽くせたように思えます。その中で、陸上の個人種目、男子テニス部個人戦ペア1組の県大会出場が決定しました。また水泳の個人種目では関東大会出場が決まりました。(詳しくは次頁参照)さらなる活躍を祈っています。なお紹介した出場者以外の3年生運動部の生徒は、これで引退となります。コロナ禍で厳しい条件下でも、よく頑張ってくれました。

さて今年度の夏季休業は、7月22日(木)から8月29日(日)までの39日間となります。昨年度は8月1日から18日までの18日間でしたので、今年度は21日間(3週間)多い夏季休業となります。やはり学校現場では、夏季休業は7月20日前後から8月31日前後の方が季節的にも合っているようです。昨年度私は、小学校に勤務しており、夏季休業期間も宗岡中と同じ、8月1日から8月18日まででした。特に小学校低学年の児童は、中学生と比べても体が小さいので、太陽光で熱せられた道路からの熱気をまともに受けながら歩くため、汗びっしょりの状態で登校していました。自宅が遠い児童は40分近く歩いてくる児童がいました。登校だけでも熱中症の危険が高まっている状態でした。また、下校時は、その日の最高気温に達する時間帯が下校時間ですので低学年の児童は帰りも大変です。そこから1時間後に小学校高学年が下校となるので、雷雨に遭遇する可能性も高く、何度も校舎内待機がありました。過酷な登下校でした。このようなことから、夏休みの期間が昔からほとんど変わらないのは理に適っているように思えます。最近では2学期の開始を8月25日前後に設定する地区が多いようです。また、先生方に目を向けても、夏季休業中は研修や部活動指導で、ほぼ毎日出勤しています。私が教員になったころ、学生時代の友人に「夏休みがあつていいよな」と言われたことがありましたが、そんなことはありません。当時の友人は、教員も生徒と同じく休めると思っていたとのことでした。ここ最近、学校閉庁日として8月の旧盆期間の5日間ほどが、日直もなく部活や研修もない日として与えられるようになり、比較的休暇が取りやすい傾向にあります。それでも、さらなる教職員の勤務負担軽減を実施していかなければなりません。

